

8 外国語活動 (外国語) ・コミュニケーション活動

< 全体計画 >



1 外国語活動（外国語） 研究主題

考えや気持ちを伝え合う楽しさや大切さを知り、

主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

= 主題設定の理由 =

本校の児童は、街中にいながら素直で純朴なよさがある反面、人前で積極的に自分の意見を述べたり、伝えたい内容を適切に表現したり、説明したりする力が十分とはいえない。外国語活動（外国語）においては、いろいろな人と外国語を通じてふれ合いたいと思っている児童は多いが、実際に積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度については個人差が大きい。そこで、外国語活動（外国語）を通して「相手意識、目的意識をしっかりともって、分かりやすく伝え合う活動」、つまり意味のあるコミュニケーション活動を大いに経験させることが、本校児童の課題の解決につながると考え、本研究主題を設定した。

今後児童がグローバル化のさらに進む社会生活の中でたくましく生きていくためには、文化や価値観の異なる人々との相互理解を深め、共通する課題を解決していくコミュニケーション能力が不可欠である。

秋田県では、「言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する授業づくり」（『R6 学校教育の指針』より）を外国語活動（外国語）の重点としている。よって、本校外国語活動（外国語）の研究主題は、県が目指す方向性とも合致していると考えられる。

2 研究の仮説

- ・友達やHRT、ALTなど、いろいろな人との関わりを大切にし、知りたい・伝えたいと思うような題材、場面設定等を工夫することで、自分の考えや気持ちを伝え合う楽しさや大切さを実感できるのではないかと。
- ・「本時のねらい」から、「ねらいを達成するための学習活動」、「評価」まで整合性をもたせ、さらに学習の成果を実感できる振り返りを工夫することにより、学習に見通しをもち、単元のゴールに向けて主体的にコミュニケーションを図ろうとする意欲が育つのではないかと。

3 研究の重点と実際

「知りたい」「伝えたい」を大切にしたい授業づくり

- ・英語を使う必要感のある場面設定や、既習表現を活用した言語活動の設定
- ・目的・場面・状況等に応じて、他者を尊重しながら対話が図られるような言語活動の設定
- ・児童が興味・関心をもつ身近な題材や、社会や世界との関わりを重視した題材の設定
- ・他校とのTeamsによる交流学习など、ICT機器の適切な場面での効果的活用

主体的なコミュニケーション活動の充実

- ・一年を通した目標を達成するための目指す姿を明確にした活動の設定と、1単位時間ごとのねらいの明確化
- ・“Let's try!” や “New HORIZON Elementary English Course” で扱われる言語材料及び既習事項を効果的に活用し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理し、伝え合う活動の設定
- ・児童が、自分の英語を話すレベルの高まりを実感できるようにするための中間評価の確保
- ・習得した知識及び技能を実際のコミュニケーションに活用できたことを、児童が実感できる振り返りの工夫
- ・「進んで英語を使ってみよう」という児童の意欲につながるような、教師の声かけや励まし
- ・児童の困り感（実態）の把握と、個に応じた指導・支援（児童用デジタル教科書の活用など）

- ・中学校区における情報交換、授業交流及びカリキュラムの連携（年間指導計画等）
- ・効果的なTT（学級担任・専科教員・ALT）の活用
- ・教員の指導力向上のための研修の充実
- ・一人一人の児童を伸ばす評価の工夫
- ・児童の興味・関心等の学習状況の把握
- ・日常生活に関連させた題材・教材の工夫
- ・既習事項や世界の国々（文化）についての掲示物を活用した学習環境の整備

